

比 叡 山

(写真 1)



(日吉大社の鳥居前)

(写真 2)



(坂本通りの街中を進む)

(写真 3)



(表山道---本坂の登山口)

(写真 4)



(早くもおやつタイム)

※山行日 ----- 2021 年 3 月 23 日(火)

※メンバー ----- 計 5 名 (弥生班)

※コース (結果)

(往路---電車移動)

・ JR 和歌山駅. (出発) 6:31

・ JR 比叡山坂本駅. (到着) 9:00

(山行).

・ ケーブル坂本駅 登山口----- 9:25

・ 根本中堂 ----- 11:30

・ 比叡山山頂(大比叡 848m) ----- 12:00

・ 延暦寺駅(ケーブル乗車) ----- 13:00

・ 芙蓉園本館 (昼食) ----- 13:30

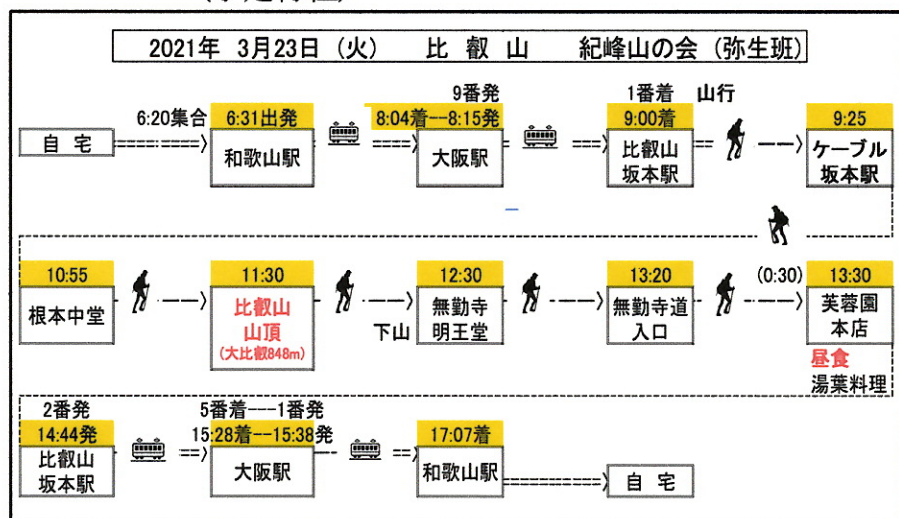
(帰路---電車移動)

・ JR 比叡山坂本駅. (出発) 14:44

・ JR 和歌山駅. (到着) 17:07



(予定行程)



※今月に入り 2 回目の山行は、比叡山です。

今回は電車(JR)での移動となり、テーマは「比叡山(大比叡 848m)登頂と、ゆば料理堪能のぶらり旅」、ということで実行しました。

(写真 1・2)の解説

- ・ 和歌山駅を 6 時 31 出発し、比叡山坂本駅に 9 時到着。駅を出て坂本商店街には、日吉大社の大きな鳥居が---まずは、到着記念でハイポーズ。その先には、桜が咲き誇っていた。

(写真 3・4)の解説

- ・ 登山口を探すのに右往左往と苦労しが、地元の登山者に表参道(本坂ルート)を聞き、30 分遅れの山行となった。ぶらり旅のはずが、早くも焦りが---。しかし、おやつタイムは、きっちり取ります。

(写真 5)



(本坂ルートの中間地点?)

- ・思った以上に急登で、本当にこの道でいいのか不安に-----
スマホ(ヤママップ)で確認中。

(余談)

- ・比叡山てこんなに「しんどかった」のかなあ〜。
「ひえい」と嘆き、ジョークが飛ぶ。
- ・スマホに「しんどい」の方言は通じないやろ〜と、誰かが呟く。

(写真 6)



(阿弥陀堂の前)

- ・11 時過ぎにやっと延暦寺境内に到着。

(写真 7)



(鐘撞堂)

- ・安全祈願で釣り鐘を一突き。
ちなみに、一突き 50 円です。

(写真 8)



(根本中堂の御朱印)

- ・延暦寺の総本山である根本中堂は、改修工事中である。(改修工事は2026年まで)
- ・拝観はしなかったが、一般御朱印と特別御朱印(毎月午の日限定)を頂いた。

(参考)

- ・比叡山延暦寺の境内は三塔と呼ばれる東塔(とうとう)・西塔(さいとう)・横川(よかわ)の3つの地域に分かれ、これらを総称して比叡山延暦寺と呼ぶ。

- ・根本中堂は最大の仏堂で延暦寺の総本堂となり国宝に指定されています。

- ・延暦とは、開創時の年号由来の寺号で、最澄が亡くなってからつけられた名称です。

- ・武装化した僧兵の拠点として長く歴史に名をとどろかせ、戦国時代に織田信長によって、焼き討ちされた歴史があります。

(写真 9)



(大比叡山頂 848m)

- ・歴史を学んでから、根本中堂の境内の後ろの山間を急登し約40分、電波塔の裏側の山頂に到着。
- ・「紀峰山の会」の旗を靡かせ、ハイ、ポーズ。
- ・時計を見ると予定より約1時間の遅れとなる。

(写真 10)



(無勤寺参道)

- ・昼食を予約しているため、遅れを取り戻すため、徒歩下山をケーブルで下山することになり、「無勤寺」を目指し急ぐ。

(写真 11)



(ケーブル駅前の展望台にて)

- ・ようやくケーブル延暦寺駅前に到着。
見晴らしがよく眼下に琵琶湖、その先東側には三上山が見えた。

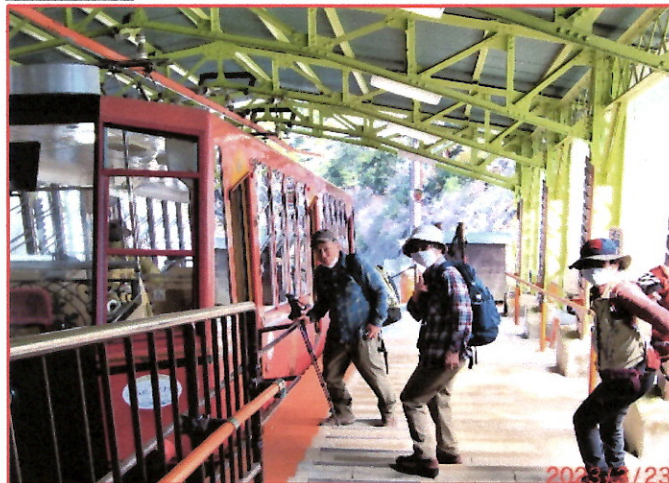
(写真 12)



(ケーブル延暦駅前)

- ・12時45分ケーブル駅に到着。ケーブルで下山することになり、疲れによる歓迎と歩きたい気持ちで残念の内心は悲喜こもごも。

(写真 13)



(坂本ケーブルに乗り下山)

- ・坂本ケーブルカーに乗るのが初めてという人もあり、わくわく気分。

(写真 14)



(坂本ケーブルの切符)

(参考)

- ・坂本ケーブルは、門前町坂本と比叡山延暦寺の表参道として1927(昭和2)年に開業。
- ・ワイドな窓の車両は、「縁号」「福号」と2車ある。良いご縁が結ばれ、福が授かるよう名付けた-----と切符の裏に記されていました。
- ・長さは約2025mで日本一。トンネル2カ所あり、11分の乗車。

(写真 15)



(ケーブルカーの車内)

- ・ケーブルカーの車内は、斜面に合わせ座席毎に段々になっており、前方の眺めがよい。
写真はトンネルの出口が見えてきたところ。

(写真 16)



(芙蓉園本館)

- ・13時30分予約していた芙蓉園本館へ。少し遅いランチタイムであるが、今回の楽しみの一つ。

(写真 17)



(ゆば料理)

- ・予約していたゆば料理(1500円)。小鍋で熱々のゆば、桜エビ入りのお豆、柚子みそのゴマ豆腐、わらび餅と、どれも上品な味でした。

(写真 18)



(ランチタイム風景)

- ・日本庭園が良く見える大きな窓のあるレストラン。桜も満開。

(写真 19)

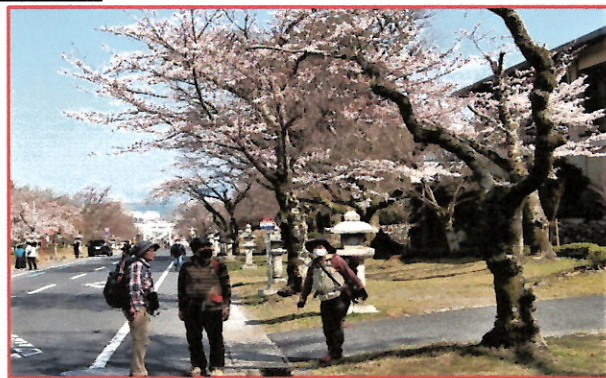


- ・芙蓉園の庭園に洞穴や滝もある。

(参考)

- ・芙蓉園本館は、旧白毫院庭園。延暦寺の僧侶の隠居所でもある里坊のひとつが、白毫院。庭園は江戸初期(1658~1660)に白毫院が建築されたときに作庭された。明治初期に料亭・芙蓉園の所有となった。とのことである。

(写真 20)



(あ〜満腹した)

- ・芙蓉園で満腹後、坂本通り出ると桜並木。そして、向いの庭に大きなしだれ桜が----



(写真 22)



(薬樹院の太閤桜)

- ・通りすがりの地元の人に聞くと、豊富秀吉とのゆかりから「太閤桜」と呼ばれているそうです。

※今回の山行は、電車移動で時間に追われましたが、いつもより雰囲気の違い、趣きがあり多く歩いた。

(帰宅後の歩数-----26,171歩)

そして、今回のテーマである「比叡山(大比叡 848m)登頂と、ゆば料理堪能のぶらり旅」を満喫し、おまけに前回山行時の「熊野桜」に続き「太閤桜」も観賞でき、楽しい旅でした。

次回予定している大洞山の「三多気の桜」も今から楽しみだ!!